

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	デイアマンテ
供給者の会社名称	レインボー薬品株式会社
住所	東京都台東区上野 1-19-10
担当部門	企画開発部
電話番号	03-6740-7777
FAX 番号	03-6740-7000
推奨用途及び使用上の制限	農薬
整理番号	23742-03

2. 危険有害性の要約

GHS 分類(分類 JIS)

物理化学的危険性	引火性液体 自然発火性液体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品	区分外 区分外 区分外 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分外 区分外 区分外 区分外 区分 2 (神経系)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 水生環境有害性(長期間)	区分 2 区分 2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

- 【安全対策】 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
必要に応じて、適切な保護具を着用する。
環境への放出を避けること。
- 【応急措置】 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
漏出物は回収すること。
- 【保管】 換気のよい場所で保管すること。
- 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学名又は一般名	トルクロホスメチル・マンデストロピン水和剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
トルクロホスメチル	40%	C9H11ClO3PS	対象外 (農薬)	4-(9)-127	57018-04-9
マンデストロビン	10%	C19H23NO3	対象外 (農薬)	4-(7)-2469	173662-97-0
水、界面活性剤等 (水酸化ナトリウム)	残部 0.002%	非開示 NaOH	非開示 (1)-410	非開示 既存	非開示 1310-73-2

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は燃焼しないが、水が蒸発後は燃焼する。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

本製品の火災:散水、水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤。

特有の危険有害性

熱で容器が爆発するおそれがある。

吸入すると有害となるおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

風上に留まる。

低地から離れる。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、
眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、砂、ウエスあるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて
後で廃棄する。

大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 安全取扱注意事項 接触回避 衛生対策 保管 安全な保管条件 安全な容器包装条件	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 環境への放出を避けること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して保管すること。 製品の容器包装材料にて保管する。
--	--

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2019年版)	ACGIH (2020年版)
トルクロホスメチル	未設定	未設定	未設定
マンデストロピン	未設定	未設定	未設定
水酸化ナトリウム	未設定	最大許容濃度 2mg/m3	未設定

設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。 換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。 必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。 必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。
--	---

9. 物理的及び化学的性質

外観 臭い 臭いのしきい(閾)値 pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 蒸発速度(酢酸ブチル=1) 燃焼性(固体、気体) 燃焼又は爆発範囲 蒸気圧 蒸気密度(空気=1) 比重(密度) 溶解度 n-オクタノール/水分配係数	物理的状态 形状 色 液体 粘稠懸濁液体 類白色 データなし データなし 8.0 データなし 約 100°C(水) 不燃性 データなし 適用されない データなし データなし データなし データなし 1.20 (20°C) 水に分散 データなし
--	---

自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	442 cP (20°C)

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件において反応性はない。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	情報なし。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、燐や硫黄の酸化物、ハロゲン化合物、不完全燃焼化合物等が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット(雌)LD50 > 2,000mg/kg GHS:区分外に該当する。
	経皮	ラット(雄雌)LD50 > 2,000mg/kg GHS:区分外に該当する。
	吸入(気体)	分類対象外
	吸入(蒸気)	データがなく分類できない。
	吸入(粉じん)	分類対象外
	吸入(ミスト)	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		ウサギ:軽度の刺激性 GHS 区分外に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		ウサギ:刺激性なし GHS 区分外に該当する。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		モルモット:感作性なし 「区分外の判定は慎重に行うこと。」(事業者向けガイダンス) より、分類できないとした。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分 2(神経系)の成分を 10%以上含むため、区分 2(神経系)とした。
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	コイ 96 時間 LC50 = 17.9 mg/L オオミジンコ 48 時間 EC50 = 3.22 mg/L 藻類 0~72 時間 EC50 = 11.4 mg/L オオミジンコのデータより GHS:区分 2 とした。
水生環境有害性(長期間)	急性 GHS 区分 2 であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分 2 とした。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
-------	---

汚染容器及び包装 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
クラス	9
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
有害液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
クラス	9
等級	3
特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	171

15. 適用法令

消防法	危険物、指定可燃物に該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
水質汚濁防止法	指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3) 水酸化ナトリウム
農薬取締法	農薬 農林水産省登録 第23742号

16. その他の情報

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。